

ことねぎだより

NO.164

2021年1月号

TEL: 075-601-0668

こと京都探検隊



謹賀新年

新年あけましておめでとうござります。今年も設立して二十周年目となり、会社もようやく成人となりました。これから先は、九条葱を柱に自産も含め、国産葱商社とし、産地も全国に展開します。葱の安定供給に努め、皆様にご喜ばれる会社を目指して参ります。

山田敏之

「こと京都人」宣言

— ことグループを創る、私たちの「らしさ」 —

- 一、相手が誰であれ、温かみのある笑顔で接します
- 二、お互いを認め合い、異なる考え方を排除しません
- 三、挑戦し続け、どのような状況でも楽しみながら成長します
- 四、問題は自分に原因があると考え、他人を責めません
- 五、落ちているゴミは拾い、困っている仲間がいたら助けます
- 六、全ての物事への感謝の心を、いつも忘れません
- 七、品格ある農業者となり、日本の農業新時代を開きます

今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

想いと甘みがのった冬葱のお届け

9月下旬から10月にかけて定植したねぎです。

この時期の苗は、今年の過酷な環境下で育ったため、決して満足のできるものではありませんでした。いつもより少し弱々しい苗が、植えた後に枯れないように農人たちは精一杯世話をし、大事に育ててきました。苗もそれに応えてくれ、収穫する頃にはあんも入ってズッシリ重みのあるねぎに成長してくれました。冬のねぎは、美味しさが増す一方、葉割れを起こしやすいので、より丁寧に収穫して、皆さまのもとへお届けしています。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業!の現場の「こと」を発信



12月中旬の美山の積雪。現地の農人もびっくり!

雪で冬を感じながら、来春に向け準備中

今年は、ラニーニャ現象の影響もあり、12月には美山でも積雪がありました。ちなみに昨冬は2月に薄っすら積もっただけでした。寒さからねぎたちを守るため、少し大きくなったねぎにはビニールの被覆をします。また、来春以降の5月にお届けするねぎはこの寒い時期に定植します。

苗がしっかりしていても、この冬の寒さでダメになることがあるので、定植後はすぐにパオパオ（不織布）で覆い寒さから苗を守り、冬が越せるようにしてケアしています。『苗半作、八分作』という言葉があるように、作物栽培において苗の状態がその年の作物の出来を決めるといっても過言ではありません。



この日は、先輩農人が定植機の使い方を指導してました。若手農人も奮闘してました。

一二月の時期に雪が積もったのは何年ぶりか、美しい景色にもなりませんが、間もなく収穫を迎える畑がダメになってしまうことも。これだけ雪が積もるとは思っておらず、嬉しい思いもあります。



面積が広いので、みんなが手際良く!!

● 今年の日本一シリーズは「品質」です

日本一シリーズとは、毎年ことグループスタッフ全員で「今年はこのテーマで日本一と言われるように取り組もう!」と決めている目標。「品質」にも商品とサービス、それぞれの「品質」があります。その両面の向上のため、新たに掲げました「こと京都人宣言」を実行していきます、関わる皆さまと一緒に仕事させていただきます!